

第1回 志布志湾海岸保全対策検討協議会 議事概要

- ・開催日時：令和5年9月25日（月）13：30～15：00
- ・開催場所：東串良町役場（防災庁舎 対策本部室）
- ・出席委員：西委員，加藤委員，中川委員，下平委員，東委員，宮原委員，永野委員，楠田委員代理（柳井谷参事），原崎委員，安藤委員，渡邊委員，小濱委員，厚ヶ瀬委員，星野委員，佐多委員，鍋田委員，福永委員
※杉山委員は欠席

※委員紹介・規約について事務局から説明，会長に西委員が就任
以下，各議題における主な意見（発言順）

1) 志布志湾海岸保全連絡協議会による要望について

※配布資料（要望書）に基づき各委員から説明

下平委員（志布志市長）

押切海岸の侵食対策について，過去にも対応してもらっているが，近年の台風により矢板護岸がむき出しになっている。恒久的な対策を講じてほしい。

東委員（大崎町長）

菱田川河口部の堆積について，台風，高潮等により大量の土砂が河口部に堆積し，梅雨時期は河川の水位が上昇し，河口上流部の護岸が被災している。

恒久的な対策を講じてほしい。

宮原委員（東串良町長）

柏原海岸の侵食について，台風来襲により汀線侵食が進み，背後地にあるちりめん加工場やビニールハウスへの塩害等の影響が懸念される。侵食対策を講じてほしい。

永野委員（肝付町長）

肝属川河口付近の堆積について，近年の豪雨や台風により年々土砂堆積が進行してい

る。今後も、状況が悪化すれば漁場が荒れ、水揚げ減少にも繋がるおそれがある。肝属川河口付近の早急な浚渫を講じてほしい。

2) 各事業主体による取組

(事務局から配付資料に基づき説明)

3) 学識者による情報提供

中川委員，加藤委員，西委員から，河口域における堆積現象，海岸の侵食問題，志布志湾の現状について解説（画面表示で説明。配付資料無し。）

4) 今後の検討に向けた意見交換

西会長

過去からの測量データがあれば有用だと考える。

渡邊委員

志布志港湾事務所では、昭和55年から志布志港湾海岸の地形測量を実施しており、年2回、台風前後に海岸地形測量を行っている。蓄積したデータを本協議会に提供するので今後の海岸保全対策検討の基礎データとして活用してほしい。

事務局

志布志港湾事務所から提供いただくデータと、過去に県が行っている測量データを統合して、志布志湾の侵食・堆積の傾向のようなものが示せたら、検討を進める上で有用と考える。次の協議会で提示したい。

福永委員

宮崎県の宮崎海岸では、国が直轄事業で侵食対策を実施している。

砂の移動を抑える突堤整備のほか、陸上養浜として、周辺の公共事業で発生した公共残土を搬入、海中養浜として、港湾の浚渫土を投入している。

漁協をはじめとする海岸利用者の同意が大前提と考えるが、土質や環境基準の試験を行い、海岸利用者も入った検討会において、ある一定の基準を設けて、受入可能な土を種

別し養浜に取り組んでいる。河川工事の他、道路工事で発生する土砂も受け入れている。

本協議会の関係者が連携して取り組める海岸保全対策の一つとして、みなさまの同意が得られれば、試行的に一部の区域において、陸上部からの土砂搬入を実施したいと考えている。

西会長

私も、宮崎海岸の侵食対策検討委員会で委員をしており、公共残土を有効活用した養浜は、当然、土質にもよるが、有効な取組の1つと考える。試行的な取組として、一部の区域で、陸上部からの土砂搬入による養浜を実施することでいかがか。

下平委員

是非、よろしく申し上げます。潮流は観測しているのか。

西会長

年間を通じての潮流を含めた海象のデータがあれば良いと考える。測量データを統合すれば、過去からの侵食、堆積の傾向が分かると思うが、そこに海象のデータが加わることにより、その裏付けにもなるし、将来予測にもつなげられる。

永野委員

リアルタイムで分かる衛星データの活用や潮流観測は行っていないのか。

事務局

現時点で、潮流観測は行っていない。各機関において、過去に観測したデータ等があれば提供をお願いしたい。

安藤委員

肝属川の河床の変動状況の測量データを本協議会に提供する。今後の海岸保全対策検討の基礎データとして活用してほしい。

事務局

今後の検討に向けた意見交換で、既存資料（汀線測量）の統合という話をしたが、協議会に諮るための資料整理や、とりまとめ方などの細かな点については、実務レベルの作業部会を設けて、その中で検討・整理したいと考えている。

その過程で、学識者の先生方や各機関の皆様方へアドバイスを求める場合は、ご協力をお願いしたい。

西会長

第2回の協議会までに、実務レベルの作業部会を開催して、「海岸線の汀線測量の統合作業」「養浜の試行的な取組」について、ある程度まとめていきたいとのこと。

検討・整理を進める上で、現場で取り組んでみたいことが出てくる場合は、協議会の開催を待つことなく、事務局から各委員の皆様事前に確認をとった上で、取り組んでいけば良いと考えるがどうか(異論無し。)

福永委員（事務局）

次回の協議会は1月下旬から2月の上旬で調整したい。なお、参集が困難な場合は、WEB会議形式も念頭に開催したい。